

魅力あるまちづくりで更なる町の活性化を 町民みんなの意見を未来のカタチへ



▲ 3月16日の第3回ふくしのまちづくりサミットでは約40名の町民が参加

新しい施設運営の開始翌年度からは、町が運営上の損失分を8年間支援します。新たな施設では、子どもが大切にされる機能や障がい者の就労支援事業とした農業・福祉が連携した雇用創出の場などが計画されています。

町は建設用地の無償貸与、建設費などの初期費用については国・道の補助金を活用し、差額分を全額助成します。

特別養護老人ホーム芳生苑と老人デイサービスセンター健康苑の建替えに伴う新たな福祉施設の設置・運営について、3月16日社会福祉法人ゆうゆう(当別町)に委ねるとした基本協定を町と締結しました。

ふくしのまちづくり
(6685万円)

令和6年度の一般会計・特別会計・企業会計は、3月7日から14日の4日間、議員全員で構成する予算審査特別委員会(石田利美委員長・池澤哲也副委員長)に付託され慎重に審議し、原案どおり可決するものとなりました。
注目事業や主な質疑応答を厳選して掲載します。

ふくしのまちづくり事業推進補助 660万円

- (1) コンサルティング(経営課題を明らかにし診断や助言等を行う)業務
- (2) 町民主体の検討・推進組織設置及び会議
まちづくりラボ・サミット開催や小中学校及び教育機関への福祉教育実践
町外人材との交流(大学生の職業体験など)

スキルアップ事業 訓練・研修を通じた能力向上 1,540万円

- (1) スキルアップマネジメント業務
介護技術、専門技術などの向上(大学等の講義受講など)
- (2) 経営コンサルティング業務(指定管理している福祉事業)
- (3) 介護人材確保

福祉施設整備事業補助金 4,785万円

基本設計、配置計画、補助金要望調査など

ふくしのまちづくり基本構想・基本計画の概要版は、4月19日に全戸配布されました。



令和6年度予算の詳細は広報わっさお4月号をご覧ください。

令和6年度予算総額 66億4955万円

前年度比 2億1150万円増 (↑ 3.29%)

若者を呼び込み定住・定着を図る

地域おこし協力隊
(5631万円)

地域おこし協力隊とは都市部の人材を受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、定住・定着を図ります。任期は3年。人件費・活動費等は国の特別交付税で賄われます(上限あり)。

Q 任期終了後の雇用は。

A 農業分野の方は就農に向けて、それ以外の方については町内事業所への就職の斡旋や、役場の採用も考えていく。

Q 定住できる環境づくりや地域サポート体制は。

A 地域おこし協力隊の活動や定住に向けてのサポートを民間事業所にもお願いしていく。

令和6年度 地域おこし協力隊

名 称	人数	内 容	
企画提案型	1人	現在3年目	メロン栽培・特産品の開発(令和7年2月末まで)
新規就農者確保・育成	2人	新規活動中	就農準備に関する活動(3月から1人、4月から1人)
子育て支援クリエイター	1人	新規活動中	子育て支援や子どもの居場所づくりの研究
移住定住クリエイター	1人	募集中	移住・定住に繋がる企画・活動
魅力発信クリエイター	1人	募集中	特産品や観光資源を活かした町の情報発信
デジタル創出クリエイター	1人	募集中	和寒町内のDX推進

奨学金返還支援
(20万円)

町内で働く方に奨学金返還金額の年額20万円、最長5年、最大100万円を支援します。対象は左記の全て該当する方です。

・5年以上の町内居住の意志を有する方

・大学、高校等を卒業し、申請年度初めて年齢が30歳未満

・町内事業所等の正規雇用勤務で、町内に住所を有する方

・奨学金を返還している方、もしくは返還する予定の方

・町税等を滞納していない方

・暴力団員と関係がない方
・公務員以外の職種である方

Q 公務員を対象外としている理由は。

A 公務員は特別交付税の支援を受けられないため。

外国人介護士育成
(372万円)



▲昨年9月旭川福祉専門学校で外国人留学生が芳生苑へ見学に来られました。

Q 外国人介護士が本町に来るスケジュールは。

A 令和5年、6年度に奨学金を支払い、令和7年度から5年間施設で働くスケジュールとなっている。

令和7年度から、特養で1名の留学生が採用予定。

自分事として行動するための自治会防災

防災力強化・備蓄資材整備
(28万円・62万円)



3月17日、仲町自治会が実施した防災の集いに参加して、北海道上川総合振興局危機対策の担当職員から、能登半島の地震や防災についての講義を受けました。

「和寒町も絶対安全とは言えない」という話を聞いて、身近な事と捉えたので備蓄など災害への備えを考えたいです。
(西町 太田清さん)

Q 町職員の災害対応の訓練は。

A 職員訓練として災害が起きる場所を確認し、土のうの作成もしており、災害時に慌てないようになっている。

Q 防災士の新たな配置は。

A 防災士を取得されている方が年配になってきているので、各自治会に防災士の取得の話をしようと考えている。

寄付額アップで財源確保と経済活性化を

ふるさと納税
(3000万円)

Q 令和5年度と令和4年度の寄付件数と金額は。

A 令和5年度は3月7日時点で件数が2125件、金額は3570万円。

令和4年度は件数が2658件、金額は3488万2000円で件数は前年度より約500件下回っているが、金額は増加傾向。

(1万円未満切捨て表記)

	件数	金額
令和5年度	2,190件	3,694万円
令和4年度	2,658件	3,488万円
令和3年度	3,125件	4,000万円

▲ふるさと納税寄付件数と金額
(令和5年度確定値)

Q 令和6年度返礼品で新しい商品は。

A 何件か申し出があるが、開発段階なので新しい商品を扱うように進めていく。

健康あんしんダイヤル24
(88万円)

Q 健康相談の実績は。

A 令和4年度の相談総数は153件、令和5年度は1月までの相談総数は76件。

内容は症状の相談が多く、時間としては7時から8時、18時から21時が多い。(24時間対応)



健康あんしんダイヤル24
☎0120-200-714

基金このまま使い続けて大丈夫？

基金（貯金）の一般財源繰入れ
（4億5437万円）

	基金残高	取り崩し額
令和6年度	30億 5,486万円	4億 5,437万円
令和5年度	34億 3,022万円	3億 8,092万円

▲基金残高と取り崩し額（見込み）

Q 令和6年度末、基金を4億5千万円取り崩すと残金が30億円になり、今後同じように繰入をしていくと、数年先に基金が無くなってしまふ恐れがあるが対策は。

A 基金を維持していくためには、今後止めていかなければならない事業もある。
基金の取り崩す額をなるべく下げるように見直し、財源を守れるように努力する。

学校のエアコン

Q 令和6年度エアコンの設置に伴い、電気料はどの程度掛かるのか。

A 概算として小学校で年間155万円、中学校で87万円エアコン設置に伴い電気料が掛かる見込み。

Q エアコンの設置が夏に間に合わない場合の暑さ対策は。

A 暑さ対策として道教委から部活の中止などが通知され、また夏期休業期間を昨年同様の30日間に設定しており、これまで25日間の休業を延長している。

ヒグマ・鹿・アライグマの駆除体制

有害鳥獣駆除
（618万円）

Q 令和5年度の有害鳥獣の捕獲頭数は。

A 令和5年2月末時点でエゾシカが197頭、アライグマが164頭、ヒグマは0頭。

Q ヒグマの対策と猟友会の状況は。

A 北海道は春期捕獲を実施している。
本町としても、猟友会と春期捕獲に関する打ち合わせをしている。

（単位：頭）

	エゾシカ	アライグマ	ヒグマ
令和5年度	209	161	0
令和4年度	196	89	0
令和3年度	193	48	2

▲有害鳥獣捕獲頭数
（令和5年度確定値）

塩狩峠公園の案内看板

Q 商工会青年部より、旭川から本町に向かう時に塩狩峠公園が分かりづらく、看板があれば入りやすいのではという要望があったが。

A 国道の看板設置は、開発局に相談している。



▲旭川方面から北上した塩狩峠公園周辺の看板